

第2章 南幌町の概況

第1節 自然条件及び社会的現況

第1 位置及び面積

南幌町は、北海道の中央部よりやや西南端の石狩平野に位置し、夕張川、千歳川に囲まれ、東北は岩見沢市、東南は旧夕張川を隔てて長沼町、西南は千歳川を挟んで北広島市、江別市に接している。東端は東経141度42分、西端は東経141度34分、北端は北緯43度07分、南端は北緯42度59分に位置し、東西に11.765km、南北13.85km、面積は81.36km²を有する。





第2 地形

東北部よりやや緩傾斜しており、高丘地は全くない全町平坦地区で、標高は10mである。

第3 河川状況

1 旧夕張川

南幌町零号より夕張川と分岐し、長沼町と境界をなして千歳川に合流する。沿線には2箇所の排水機場と2箇所の揚排水機場を有する。新夕張川切替工事前は、本町に大きな水害をもたらした。

2 夕張川

夕張、芦別岳に源を発し、栗山を経て西北に流れ、石狩川に合流する河川で、昭和11年の切替工事の完成により、本町は度重なる水害より開放された。

3 千歳川

千歳川は北広島市、江別市と境界をなして石狩川に注ぐ河川であり、沿線には3箇所の排水機場を有する。

4 幌向運河

本町の開拓当初の交通手段として掘さくした人工河川である。現在は千歳川に注ぐ排水路となっている。

第4 地質・土性

旧夕張川及び幌向運河沿に発達した沖積土と幌向原野を形成する泥炭地からなり、泥炭地帯においては各種土地改良事業が進められた。

第5 気象

四季を通じて昼夜の温度差が著しく、内陸型特性を有する。1年間の平均的溫度変化は1～2月は－7.8℃で、4月上旬より急激に上昇し、8月上旬には21℃前後に達する。8月中旬を過ぎると急激に降下し、11月には3℃となる。

雨量は、8・9月が最も多く月平均140mm程度であり、5月が最も少なく30mm程度である。

初霜は、10月上旬、初雪は11月上旬であり、終雪は4月上旬である。

第6 社会的現況

災害は、気候、地質等の自然条件とともに、社会的条件も大きな要因となる。

被害を拡大する社会的災害要因として、年齢構成や生活環境の変化、情報化社会の進展、住民の共同意識の変化等がある。

1 人口、世帯数等

南幌町の総人口及び世帯数は、平成29年4月1日現在7,737人、3,421世帯である。

年齢階級別人口については、平成10年以降は年少人口の減少が目立ち、少子化の傾向が見られる。老年人口は、年少・生産年齢人口と比較して大幅な増加は目立っていないものの、総人口に対する高齢化率は平成29年4月1日現在で30.9%となっており高齢化が進んでいることがわかる。

これら核家族化、少子化、高齢化の状況から、地域の防災活動に大きな支障をきたすことが懸念される。

2 生活環境の変化

日常生活においては、電気、上下水道、ガス、電話等のライフラインは不可欠なものとなっていることから、これらに被害が発生した場合の情報不足等による生活面での不安が増大し、社会的混乱の要因となることが予想される。

また、高齢者（特にひとり暮らし高齢者）、障がい者、乳幼児、妊産婦、外国人等要配慮者の増加が見られるため、避難行動要支援者に対する防災知識の普及、災害時の情報提供、避難誘導、救護・救済対策を行うなど防災の様々な場面において、避難行動要支援者関連施設の災害に対する安全性の向上を図る必要がある。

3 住民の共同意識の変化

今日の社会経済の発展は、生活水準を向上させ、物質的には豊かな社会を出現させた反面、生活様式の多様化に伴い、住民の地域的連帯感が希薄化してきているが、近年の大規模災害の多発により災害の恐ろしさを認識することにより、相互扶助の意識の必要性が再認識されてきている。

第2節 災害の概況

第1 災害の概要

本町の過去の災害は、増水による石狩川の逆水及び千歳川上流の増水による江別川の氾濫、その他町内小河川の溢水によるものである。概要は、次のとおりである。

発生年月日	種類	災害地域	災害の概要
明治31年 9月7日	水害	夕張川沿岸地帯 (南幌、長沼、栗山、由仁)	夕張川、江別川沿岸地帯において、6日正午頃より降雨があり、夜半より豪雨となり、8日午前8時40分までの降水量は157mmであった。 夕張川沿岸地帯における被害状況 被害反別 7,189反 収穫皆無反別 5,889反 〃 7分以上損害反別 71反 〃 7分以下3分以上損害反別 1,229反 流損家屋 23戸 全滅家屋 28戸 溺死牛馬 馬 1頭 罹災者 3,695人
明治34年 9月7日	水害	夕張川、江別川、千歳川の各河川沿岸	9月上旬に連日降雨があり、夕張川、江別川、千歳川では、9月7日から9日までの3日間氾濫が続いた。
明治37年 6月30日 ～7月1日	水害	夕張川沿岸	6月30日に本道へ上陸した低気圧のため、連日豪雨が続いて夕張川は氾濫し、明治31年の洪水に匹敵する惨害を起こした。
大正2年 8月27、 28日	冷害 水害	全町、夕張川沿岸	春以来の低温と約半月早く9月14日初霜に加え、8月27日～28日の暴風雨による夕張川の氾濫
大正11年 8月24、 25日	水害	夕張川沿岸地帯	8月24日の夜更より25日に増水し、氾濫した。畑を一朝にして荒蕪地とし、多大の損害を出した。
大正12年 9月15日 ～17日	水害	夕張川沿岸 江別川沿岸	9月に入り、連日の降雨により各河川は増水した。15・16日の両日の猛烈な暴風、雨は遂に堤防を破壊し、農地は泥海と化し、大きな被害を出した。
昭和6年	冷害 水害	全町、夕張川地域	融雪増水に加え春先の連日的降雨により夕張川が氾濫し滞水日数が60日～90日まで及ぶ箇所があった。
昭和7年 8月上旬	水害	夕張川地域 江別川地域	8月4日より9月14日まで延18日間に至る降雨で平年と比べて約3倍の降水量となり、9月中旬まで5回

発生年月日	種類	災害地域	災害の概要																																										
～ 9 月中旬		(夕張太、鶴城、 晩翠、大野 6 区)	の反覆洪水に侵された。 <table><tr><td>収穫皆無反別</td><td>田</td><td>14, 802反</td></tr><tr><td></td><td>畑</td><td>6, 771反</td></tr><tr><td>減収反別 7 割以上</td><td>田</td><td>5, 300反</td></tr><tr><td></td><td>畑</td><td>1, 399反</td></tr><tr><td>〃 5 割以上</td><td>畑</td><td>907反</td></tr><tr><td>3 割以上</td><td>畑</td><td>21反</td></tr><tr><td>浸水家屋</td><td></td><td>371戸</td></tr><tr><td>流失家屋</td><td></td><td>60戸</td></tr><tr><td>斃死牛馬</td><td></td><td>6 頭</td></tr><tr><td>被害地区の牛馬数</td><td></td><td>850頭</td></tr><tr><td>同上中栄養不良数</td><td></td><td>620頭</td></tr><tr><td>斃死鶏</td><td></td><td>505頭</td></tr><tr><td>避難所</td><td></td><td>4 か所</td></tr><tr><td>避難人員</td><td></td><td>1, 283人</td></tr></table>	収穫皆無反別	田	14, 802反		畑	6, 771反	減収反別 7 割以上	田	5, 300反		畑	1, 399反	〃 5 割以上	畑	907反	3 割以上	畑	21反	浸水家屋		371戸	流失家屋		60戸	斃死牛馬		6 頭	被害地区の牛馬数		850頭	同上中栄養不良数		620頭	斃死鶏		505頭	避難所		4 か所	避難人員		1, 283人
収穫皆無反別	田	14, 802反																																											
	畑	6, 771反																																											
減収反別 7 割以上	田	5, 300反																																											
	畑	1, 399反																																											
〃 5 割以上	畑	907反																																											
3 割以上	畑	21反																																											
浸水家屋		371戸																																											
流失家屋		60戸																																											
斃死牛馬		6 頭																																											
被害地区の牛馬数		850頭																																											
同上中栄養不良数		620頭																																											
斃死鶏		505頭																																											
避難所		4 か所																																											
避難人員		1, 283人																																											
昭和 8 年 8 月 8 日	水害	夕張川沿岸 (鶴城、石川、大 野、晩翠、夕張 太、6 区)	8 月 8 日正午過ぎより、1 時過ぎに至る間に町内 5 か所の堤防が決壊した。 <table><tr><td>浸水面積</td><td>田</td><td>13, 120反</td></tr><tr><td></td><td>畑</td><td>5, 811反</td></tr><tr><td></td><td>原野</td><td>12, 000反</td></tr><tr><td>浸水家屋</td><td>床上</td><td>174戸</td></tr><tr><td></td><td>床下</td><td>87戸</td></tr><tr><td></td><td>破損</td><td>142戸</td></tr><tr><td></td><td>倒壊</td><td>11棟</td></tr><tr><td>農作物被害</td><td>田</td><td>12, 579反</td></tr><tr><td></td><td>畑</td><td>5, 811反</td></tr><tr><td>耕地表土流出並びに埋没</td><td>田</td><td>62反</td></tr><tr><td></td><td>畑</td><td>5 反</td></tr></table>	浸水面積	田	13, 120反		畑	5, 811反		原野	12, 000反	浸水家屋	床上	174戸		床下	87戸		破損	142戸		倒壊	11棟	農作物被害	田	12, 579反		畑	5, 811反	耕地表土流出並びに埋没	田	62反		畑	5 反									
浸水面積	田	13, 120反																																											
	畑	5, 811反																																											
	原野	12, 000反																																											
浸水家屋	床上	174戸																																											
	床下	87戸																																											
	破損	142戸																																											
	倒壊	11棟																																											
農作物被害	田	12, 579反																																											
	畑	5, 811反																																											
耕地表土流出並びに埋没	田	62反																																											
	畑	5 反																																											
昭和10年 7 月 30 日 8 月 30 日	水害	鶴城、晩翠の一 部、夕張太、石 川、大野	7 月 30 日に木詰15号17号間において 2 か所の堤防が 決壊した。また、8 月 30 日の未明には 7 号 8 号間におい て 4 か所の堤防が決壊した。これにより、耕地1, 638町 歩が浸水し、莫大な被害を受けた。																																										
昭和29年 9 月 26 日	台風災害 (台風第15号) 冷害	全町	台風第15号により、9 月 26 日の午後 9 時30分に瞬間 風速28. 5mを観測した。																																										
昭和31年 6 月 13 日	水害 冷害	町内低地帯 全町	6 月 13 日の集中豪雨 (112. 3mm) により、耕地が680町 歩にわたって冠水した。																																										

発生年月日	種類	災害地域	災害の概要
			600町歩の水稻に黄化萎縮病が発生した。
昭和36年 7月24日 ～26日	水害	夕張太、晩翠6区、中樹林三重、鶴城の一部（低地帯）	7月24日夜半より26日正午までの雨量 178.5mm 地水と江別川逆流による水害 浸水面積 田 759ha 畑 294ha 冠水面積 田 1,163ha 畑 480ha 床上浸水 住宅 210戸 畜舎、納屋 305戸 床下浸水 住宅 307戸 畜舎、納屋 532戸 橋梁、破損 1か所 流失 5か所
昭和37年 8月3日 ～5日	台風災害 (台風第9号) 水害	全町 晩翠、6区、夕張太、鶴城、三重の一部、低地帯	被害状況 浸水面積 田 1,461ha 畑 394ha 冠水面積 田 1,147ha 畑 172ha 床上浸水 299戸 床下浸水 439戸 井戸 738か所 橋梁 4か所 道路 4か所
昭和45年 5月10日 ～13日	融雪災害	夕張太、晩翠、中樹林の一部、低地帯	5月10、11両日の降水量118mm、石狩川、千歳川の逆流により幌向運河町内各中小排水が増水し、低地帯に地水が農地に浸水し、農作物に被害が生じた。 農地浸水面積 107ha
8月15日 ～16日	台風災害 (台風第9号)	全町	住宅全壊 2戸 家屋一部破損 33戸 非住家全壊 7戸 非住家半壊 3戸 公共施設（学校）破損 2か所
昭和49年 4月21日	暴風雨	全町	住宅全壊 1戸 住宅半壊 4戸 家屋一部破損 129戸 非住家全壊 27戸

発生年月日	種類	災害地域	災害の概要
			非住家半壊 22戸 公共施設 各学校 5か所 病 院 1か所 福祉施設 3か所
昭和50年 8月22日 ～24日	台風災害 (台風第6号) 水害	夕張太、鶴城、晩 翠、6区、大野、 中樹林、三重の 一部、低地帯	8月23日の千歳川逆流による幌向運河中小排水の氾 濫及び旧夕張川、千歳川増水により堤防が10か所破損 した(旧夕張川8か所千歳川2か所)。 8月24日の21時に千歳川裏の沢で最高水位 8 m88 (警戒水位 6 m20) に達した。 床上浸水 10戸 床下浸水 50戸 農作物被害面積 690ha 道 路 3か所 水道施設 1か所
昭和56年 8月3日 ～6日	水害	全町	8月3日夜より6日午前8時までの総雨量は 399.0mmに達し、道内観測史上各地とも最高の降雨量に 達し、千歳川、裏の沢で水位6日午前2時30分 9 m85に 達した。 床上浸水 } 422戸 床下浸水 } 避難所 3か所(南小・夕小・南中) 避難人員 283世帯 964人 農作物被害 冠水 田 356ha・畑 322ha・計 678ha 浸水 田 964ha・畑 485ha・計 1,449ha 農用施設 46か所 道 路 10か所 商工業被害 4か所
昭和58年	冷害		被害面積 3,185ha
平成元年 9月4日	豪雨		集中豪雨78mm、内水排除開始
平成2年 4月23日	豪雨		集中豪雨130mmを超える。内水排除開始。麦畑冠水 28ha、同浸水58ha、ビニールハウス冠水27棟、同浸水10 棟、ゴルフ場全面冠水

発生年月日	種類	災害地域	災害の概要
平成5年	冷害		水田被害面積 3,980ha 畑作被害面積 590ha
平成9年 5月4日 ～5日	強風	全町	甜菜 4ha 水稻ハウス等 23か所 被害総額 8,716千円
平成9年 8月9日 ～10日	台風による 大雨	全町	その他雑穀 2.3ha 被害総額 1,058千円
平成10年 4月12日	融雪災害	全町	人的被害なし。 農業用施設への被害 3件 6,050千円 町道の被害 1件 300千円
平成10年 8月28日	大雨	全町	甜菜 0.5ha (冠水) 最大降水量 63.5mm
平成10年 9月15日 ～16日	台風による 大雨・強風	全町	最大降水量 81.5mm 最大風速 22.5m/s 水稻倒伏面積 535 a
平成11年 9月25日	暴風	全町	葉茎菜 2ha 営農施設 (ハウス等) 36棟 公園内樹木 94本 街路樹 105本 被害総額 11,540千円
平成12年 4月10日	大雨による 融雪水害	全町	家屋半壊 10棟 農作物 10ha 営農施設 200件 被害総額 27,200千円
平成12年 4月11日	暴風	全町	営農施設 534棟 ライスセンター 1棟 町有施設 5棟 被害総額 23,540千円
平成13年 9月11日	台風による 水害	全町	台風第15号及び秋雨前線の停滞による大雨により河川・排水の増水。農地冠水。夕張川増水によりリバーサイド公園・ゴルフ場冠水。災害対策本部設置。各排水機場起動。10日午後1時から11日午後2時までの降水量は118mmを記録。 畑 (小豆、えん麦等) 約596 a 冠水 累積降雨量 108.5mm
平成14年	台風による	全町	台風第6号の接近により断続的に降雨続く。7月10

発生年月日	種類	災害地域	災害の概要
7月11日	水害		日午後5時から12日午前8時までの累積降雨量は52.2mm。西17号排水機場起動。農作物に被害なし。
平成14年 11月26日	台風による 大雨	全町	台風第21号による低気圧により11月25日夜半から26日にかけても断続的に降雨続く。降雨が融雪を誘い、南17線西15号付近の農地が冠水。降雨が続く見込みがあり西17号排水機場を起動し内水排除を実施。農業被害はなし。
平成15年 8月8日	台風による 大雨	全町	低気圧の前線通過及び台風第10号の影響により午前9時から10時までの1時間の雨量が15.3mmに達したことから、休日ではあるが、主要職員を招集し非常配備体制により内水排除、水位観測、道路排水調査を実施。累積雨量は116.7mm。農業被害はなし。
平成15年 9月13日 ～14日	台風による 風雨	全町	本道に上陸した台風第14号による降雨及び風は、最大瞬間風速25.1m/s（夕張太）、累積降水量19.5mm（夕張太）。夕張太小学校屋根付プールシートを破損。農業被害はなし。
平成15年 9月26日	平成15年 （2003年） 十勝沖地震	全町	午前4：50（震度5弱）、午前6：08（震度4）に発生。家屋、人身、農業被害はなし。農協スーパーの陳列商品の被害。被害総額11千円。
平成16年 1月14日	暴風雪	全町	低気圧の影響により14日午後より風雪強まる。明朝までこの風雪が続くと予想されることから、総務課・建設課・企画振興課の3課職員で非常配備体制を設置。巡回バスの運行、除雪作業及び救出作業による対応。翌朝、除雪関係の苦情電話数件。家屋、人身被害はなし。
平成16年 2月26日	暴風雪	全町	26日昼ごろから本道北部の発達した低気圧による風雪により、関係課職員対応。幼稚園・小中学校の休校。除雪。除雪に関する苦情4件。
平成16年 8月31日	台風による 風害	全町	台風第16号による暴風。人身被害はなし。 倒木被害 19件 被害額513千円
平成16年 9月8日	台風による 風害	全町	台風第18号による暴風。最大風速36.2m/s、降雨量約6mm。職員適宜配置。約700世帯停電。人身被害はなし。 住宅等建造物 約230棟 90,000千円 田 50,000千円 畑 168,000千円 営農施設 180棟 15,000千円 防風林・街路樹等 約1,500本 18,000千円 公共施設 9,000千円

発生年月日	種類	災害地域	災害の概要
			計487,000千円
平成17年 8月21日 ～22日	大雨	全町	低気圧の影響により降雨。幌向運河排水機場、夕張太排水機場、西17号排水機場を起動。南18線西7号～8号間、西14号冠水のため通行止め。畑7haで冠水。被害総額6,016千円
平成17年 9月7日 ～8日	台風による 暴風雨	全町	台風第14号の影響により大雨、暴風警報発令。家屋、人身被害はなかったものの田500haで水稻の倒伏。被害総額4,940千円
平成18年 1月18日 ～19日	大雪	全町	発達した低気圧の影響により降雪。ビニールハウス、D型倉庫14棟（12戸）倒壊。被害総額6,994千円
平成18年 2月26日	暴風	全町	家屋、人身被害はなかったものの強風によりビニールハウス2棟（2戸）破損。被害総額680千円。
平成19年 9月7日 ～8日	台風による 大雨	全町	台風第9号の影響により大雨、洪水警報発令。人身、農業等被害なし。
平成20年 2月23日 ～24日	大雪	全町	低気圧の影響により降雪。町内8ヶ所で29台の車両が立ち往生。家屋、人身被害なし。
平成20年 9月11日	地震	全町	台風第9号の影響により大雨、洪水警報発令。人身、農業等被害なし。
平成21年 2月28日	地震	全町	9:36日高支庁西部にて地震発生（震度4）。災害時要援護者等の安否確認を行う。家屋、人身等被害なし。
平成22年 3月21日	暴風	全町	低気圧の影響により暴風警報発令。家屋、人身等被害なし。
平成23年 3月11日	平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震	全町	14:46平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震発生（震度4）。災害時要援護者等の安否確認を行う。家屋、人身等被害なし。
平成23年 6月23日	地震	全町	6:56岩手県沖にて地震発生（震度4）。災害時要援護者等の安否確認を行う。家屋、人身等被害なし。
平成23年 9月3日 ～6日	台風による 大雨	全町	台風第12号の影響により大雨警報、洪水注意報発令。幌向運河排水機場、夕張太排水機場、西17号排水機場を起動。人身、農業被害等なし。
平成24年 9月11日 ～12日	大雨	全町	断続的に降雨。幌向運河排水機場、夕張太排水機場、西17号排水機場を起動。東町で下水道の不流。人身、農業等被害なし。

発生年月日	種類	災害地域	災害の概要
平成24年 12月7日	地震	全町	17:18三陸沖にて地震発生（震度4）。災害時要援護者等の安否確認を行う。家屋、人身等被害なし。
平成25年 2月2日	地震	全町	23:17日十勝地方中部にて地震発生（震度4）。災害時要援護者等の安否確認を行う。家屋、人身等被害なし。
平成25年 2月21日	大雪	全町	低気圧の影響により降雪。小学校・中学校臨時休校。中央バス、夕鉄バス運休。人身等被害なし。
平成25年 9月15日	台風による 大雨	全町	台風第18号の影響により降雨。夕張太地域の一部で停電。人身、農業等被害なし。
平成26年 8月10日 ～11日	台風による 大雨	全町	台風第11号の影響により降雨。夕張太地域の一部で停電。人身、農業等被害なし。
平成26年 9月11日	大雨	全町	低気圧の停滞により降雨。7:49大雨特別警報発令。昭和56年以来となる南幌町災害対策本部を設置するものの総雨量48mm。避難に関する指示なし。人身、農業等被害なし。
平成27年 6月3日 ～4日	大雨	全町	低気圧の影響により短時間で集中的降雨。農業被害等はなかったものの道路冠水（2ヶ所）、道路法面崩れ（6ヶ所）、柵渠倒壊（1ヶ所）の被害。被害総額592千円
平成28年 1月14日	地震	全町	12:25浦河沖にて地震発生（震度4）。災害時要援護者等の安否確認を行う。保健福祉総合センター配管の一部に亀裂があったものの家屋、人身等被害なし。
平成28年 8月17日 ～18日	台風による 大雨	全町	台風第7号の影響により降雨続く。圃場での滞水、とうもろこしの倒伏があったものの農業被害なし。人身等被害なし。
平成28年 8月20日 ～23日	台風による 大雨	全町	台風第9号及び第11号の影響により降雨続く。非常時初動体制により、幌向運河排水機場、夕張太排水機場、西17号排水機場を起動。圃場への滞水があったものの農業被害なし。人身等被害なし。

